

8月の大雨に係る被害状況等について

9月16日（月）に開催された「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）情報共有会議」内容を踏まえ、本日12：00時点で把握した現地状況ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

情報共有会議の開催を受け、JVOADでは、現地のコーディネーター役として、情報共有会議を運営している「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）」のサポートを行っています。

- ・「SPF情報共有会議」に25名程度（約15団体）が参加、被害状況、活動状況を共有
- ・武雄にある「おもやいボランティアセンター」で、看護師を中心とする看護チームを作り、ニーズ調査などを始めた
- ・15日（日）に武雄市で子どもの居場所を実施
- ・地元団体、住民、支援団体、行政、社会福祉協議会等が集まり、活動について話し合いを始めた地域もある
- ・市町村レベルでの情報共有会議の実施や検討が始まっている
- ・今後、外部ボランティアが減っていくことも想定されるので、地元の支援者を募っていく必要がある、ノウハウを地元を引き継いでいくことも必要
- ・サロン活動を検討している団体が複数いる

○災害ボランティアセンター

佐賀県では、5か所の市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティア活動を継続開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください。

URL：<https://www.saigaivc.com/>

*多久市では、9月19日（木）から、ボランティアは県内、事前登録に変更予定

○その他

- ・佐賀県内の避難者は下記の通り（9月12日7：00現在）
武雄市 63名、避難所5か所
大町町 62名、避難所2か所（合計125名）
- ・次回のSPF情報共有会議の開催は、9月19日（木）19：00～
場所：佐賀商工ビル内会議室（会議室については、当日現地にて要確認）

○今後について

引き続き、県、社会福祉協議会、SPFと連携して、「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」をサポートしながら、フェーズにあわせた相談対応などを行ってまいります。